

編集 後記

先日、暑さでストレスが溜まっていたこともあり、少し院生に絡んでみた。「で、一体何が言いたいわけ、この論文で」、「関連性を示しました」、「いや、だから、その関連性を示して何をしたいの」、「いえ特には。私は真理が知りたかっただけです」、「ふーん」。

本号掲載の二本の原著論文のうち、一つは脳性麻痺を持つ学童の母親におけるストレスおよびメンタルヘルスと、家庭生活におけるさまざまなニーズとの関連を質問票調査によって調べたものである。著者らは、両者に関連は認められ、その結果は、母親の負担を軽減するための方法を開発するために役立つ、と結論している。もう一つの論文は、禁煙支援担当者の技術評価を行った上で、禁煙支援6ヵ月後、1年後の禁煙継続率と技術レベルとの関連を調べ、禁煙支援技術レベルが高いほど、より高い禁煙支援効果があることを示したものである。

「どのようにしてこの結果を介入方法の開発に役立てることができるのだろうか」、「禁煙支援技術レベルはトレーニングで改善可能なのだろうか」。せっかちな私はつい、この研究が社会にどのように役立つかを考えてしまう。

「まあ、色々な研究者がいてよいとは思いますが」と、独り合点し、院生にそれ以上絡むのは止めることにした。

(佐藤敏彦)

9号予告(第54巻・第9号)

原著

前期高齢女性の近隣他者との交流関係と健康関連QOLとの関連……………大森純子

児童の高齢者イメージに影響をおよぼす要因“REPRINTS”高齢者ボランティアとの交流頻度の多寡による推移分析から……………藤原佳典, 他

資料

単科精神科病院における患者と職員の喫煙状況 Neglected problem とされてきた精神科の喫煙問題に取り組むために……………川合敦子, 他
健康推進員の活動意識

経験年数別での比較……………村山洋史, 他
全国市町村におけるITを活用した健康教育の実施状況と保健師の意識……………甲斐裕子, 他
臨床経済学の基礎(3)……………大久保一郎, 他

第53巻9号につきまして下記のとおり修正ねがいます。

P684 表3

表3 社会関連性の死亡に対するオッズ比(年齢, 性別, 罹患, 介護, 移動機能, 感覚機能, 身近処理機能調整後)

項目	活動参加		趣味		役割の遂行		積極性		ビデオ等の利用	
	オッズ比	95%信頼区間	オッズ比	95%信頼区間	オッズ比	95%信頼区間	オッズ比	95%信頼区間	オッズ比	95%信頼区間
社会関連性項目	1.87**	1.16-2.99	1.81**	1.15-2.83	1.97**	1.26-3.09	1.82*	1.14-2.90	1.71*	1.02-2.87
年齢	1.13***	1.09-1.17	1.12***	1.08-1.16	1.12***	1.08-1.16	1.13***	1.09-1.06	1.12***	1.09-1.16
性別	2.62***	1.64-4.19	2.58**	1.62-4.11	2.31**	1.45-3.67	2.54**	1.60-4.05	2.60***	1.63-4.14
罹患	1.25	0.80-1.95	1.22	0.78-1.92	1.20	0.76-1.88	1.16	0.74-1.81	1.20	0.77-0.88
介護	2.31*	1.15-4.66	2.42*	1.20-4.87	2.11*	1.05-4.27	2.36*	1.17-4.74	2.33*	1.17-4.67
移動機能	2.47**	1.49-4.10	2.51**	1.51-4.15	2.50**	1.50-4.16	2.57**	1.55-4.28	2.50**	1.51-4.14
感覚機能	1.18	0.72-1.92	1.21	0.74-1.97	1.16	0.71-1.90	1.11	0.67-1.82	1.17	0.72-1.91
身近処理機能	1.56	0.91-2.67	1.50	0.88-2.58	1.54	0.90-2.65	1.47	0.85-2.53	1.63	0.95-2.78
Intercept	-12.136		-11.5358		-11.3710		-11.6077		-11.7592	
H-L test	0.0817		0.4940		0.3467		0.4851		0.4644	

第5回日本医学会公開フォーラム

医学・医療の今

—がんに挑む—前立腺がん

日時 平成19年10月6日(土) 13:00~16:00

場所 日本医師会館 大講堂
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL:03-3946-2121(代)

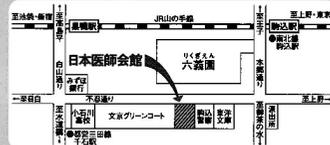
総合司会 垣添忠生(国立がんセンター名誉総長)



- | | | |
|-------|------------------------|----------------------------|
| 13:00 | 開会の挨拶 | 高久 史麿(日本医学会長) |
| 13:05 | 疫学・検診・診断 | 伊藤 一人(群馬大学大学院准教授 泌尿器病医学) |
| 13:25 | 手術療法 | 塚本 泰司(札幌医科大学教授 泌尿器科) |
| 13:45 | 放射線療法 | 山下 孝(癌研究会有病病院副院長 放射線治療科部長) |
| 14:05 | ホルモン療法 | 赤倉 功一郎(東京厚生年金病院 泌尿器科部長) |
| 14:25 | 患者の立場から—進行性前立腺がんと共に15年 | 山田 康之(京大名誉教授) |
| 14:55 | 休憩 | |
| 15:05 | フロアへの質疑応答 | (司会)垣添 忠生 |
| 15:55 | 開会の挨拶 | 出月 康夫(日本医学会副会長) |
| 16:00 | 終了 | |

主催：日本医学会
後援：日本医師会 **NHK** 読売新聞東京本社
組織委員長：垣添 忠生(国立がんセンター名誉 総長)
参加費：無料 出席者は討論に参加できます。
参加方法：[FAX送信] [郵便はがき] [日本医学会ホームページ登録]
(3方法) (記入項目：氏名/住所/電話/職業)
氏名、住所等の個人情報、入場券の送付に使用させていただきます。
第三者に提供することはありません。
入場券：参加申し込み後、10日以内に本会より送付します。
締め切り：先着500名(500名に達した場合には、入場券は送付いたしません)
問合せ先：日本医学会
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内
電話：03-3946-2121(代) FAX：03-3942-6503
URL：<http://www.med.or.jp/jams/>

※図形には、日本医師会生涯教育制度(5単位)ならびに日本内科学会認定
内科学専門医更新(2単位)の取得が認定され(但し、認済者のみ)



- JR山の手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
- 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
- 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分



日本医学会

第3回長寿医療センター国際シンポジウムのご案内

開 催 日：2007年11月15日（木）10：00～16：30
会 場：あいち健康プラザ1階ヘルスサイエンスシアター
〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1
TEL：0562-82-0211 (<http://www.ahv.pref.aichi.jp>)
主 催：国立長寿医療センター
共 催：財長寿科学振興財団
参 加 費：無料（定員240名）参加ご希望の方は、事務局にお問い合わせください。
申 込 締 切：平成19年10月19日（金）
お問い合わせ：国立長寿医療センター 国際シンポジウム実行委員会
事務局 政策医療企画課
〒474-8511 愛知県大府市森岡町源吾36-3
TEL：0562-46-2311（内線2505） FAX：0562-48-2373